

ウスムラサキチビナミシヤク兵庫県市川町に産す

高橋輝男

2016年10月6日午後9時半頃、兵庫県神崎郡市川町屋形の播但連絡自動車道路市川サービスエリアでウスムラサキチビナミシヤク *Gymnoscelis deleta* を撮影した。撮影場所は当サービスエリアの上下線を繋ぐ地下通路から地上に上がる階段の鉄フェンスである。

撮影した当初は名前が分からないままであったが、最近、図鑑やインターネットで調べていく内にウスムラサキチビナミシヤクであることが判明した。本種は南方系の珍しい種であり、インターネットを調べても沖縄産蛾類幼虫の図説と食草(2006年投稿)が見いだせる唯一のものであった。国外ではインド、スリランカに分布するようだ。本種の記録としては宮崎県小林市が最北の記録である。

食草はシマサルトリイバラやサツマサンキライであるがそのような植物は自生していない。当地で多く見られる同属のサルトリイバラ(別名サンキライ)で発生したとも考えられるが疑問である。

○参考文献

井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛・大和田守, 1982. 日本産蛾類大図鑑(第1巻). 株式会社講談社. 966pp.

井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛・大和田守, 1982. 日本産蛾類大図鑑(第2巻). 株式会社講談社. 352pls+552pp.

沖縄産蛾類幼虫の図説と食草, 2006年12月4日投稿(最終閲覧日:2021年5月3日). ウスムラサキチビナミシヤク. <https://ga1996.ti-da.net/e1186404.html>

(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)



図1 市川町産ウスムラサキチビナミシヤク

サザナミフユナミシヤクを相生市で採集

高橋弘樹

2021年1月3日20時頃、兵庫県相生市ひかりが丘の住宅の窓灯りに飛来したサザナミフユナミシヤク *Operophtera japonaria* (Leech, 1891) 1♂を採集したので報告する。

本種の分布は関東地方の他、岩手・秋田・山梨・長野・岐阜・福井の各県となっており(中島・小林, 2017), 近畿以西の記録は対馬のもの以外発見できなかった。

発見地は1990年代に丘陵を削って造成された住宅地であるが、周囲に本種の食樹となるクヌギ・コナラが少なからず残っている。



図 相生市産サザナミフユシヤク

なお、写真が非常に見苦しい状態であるが、これは筆者が標本作成に取り組み始めたばかりで展翅技術を欠くことによるものであり、捕獲時には翅の損傷は無かったことを付記しておく。

最後に、同定をしてくださった神戸大学大学院農学研究科、阪上洸多氏と記録の公表を勧めてくださった兵庫県立人と自然の博物館、八木剛氏にお礼申し上げます。

○参考文献

中島秀雄・小林秀紀, 2017, 『月刊むし・昆虫図説シリーズ11 日本の冬尺蛾』有限会社むし社

岸田泰則, 2020, 『日本の蛾』学研

神奈川県レッドデータブック2006Web版 サザナミフユナミシヤク <http://conservation.jp/tanzawa/rdb/rdblists/detail?spc=782>

みんなで作る日本産蛾類図鑑V2 サザナミフユナミシヤク <http://www.jpmoth.org/>

(Hiroki TAKAHASHI 兵庫県相生市)